



Scout Voice ISHIKAWA

スカウトボイス石川 Vol.14



発行：ボーイスカウト石川県連盟  
石川県金沢市平和町 1-3-1  
石川県平和町庁舎内  
発行責任者：野田 政弘  
編集責任者：中出 一  
令和 4年 1月15日発行

## 新年明けましておめでとうございます！ 本年も宜しくお願ひ申し上げます。



今年は寅年のなかでも、特別な年で60年周期で訪れる「壬寅（みずのえとら）」にあたる年とされています。元々の「寅」の文字の意味は「つつしむ、家の中でからだをまっすぐにのばして、いずまいを正すこと」だそうです。また、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」と縁起の良い謂れがあります。

今年は、またボーイスカウト運動に於いても、日本連盟が創立されて100周年に当たり、また、第18回日本スカウトジャンボリーが開催される年でもあります。

しかし、一昨年より世界中を震撼させている新型コロナウィルス感染症の蔓延で活動が制限されていますが、Scouting Never Stops を合言葉に、決してコロナに負けない心意気で本年も活動に励んで頂きたいものです。

この様なコロナ禍の中に、本年開催されます第18回日本スカウトジャンボリーも制限される中に実施されますが、本来の在り方でなく、代表スカウトのみ参加の大集会と、制約されています。

県連盟では、スカウト達にはジャンボリーには程遠いものでは有りますが、県内のスカウトが一同に会し、友情と相互理解を深める為に県キャンポリーを開催致します。

この大会は、ジャンボリーに準じた開催で、スカウト達にはジャンボリーに参加したと認定される大会でもあります。

しかし、コロナの感染がどの様に推移するか、予断を許さない昨今であります、Scouting Never Stops の合言葉のように、決して運動を止めてはなりません。

その為にも日頃から、マスク着用、手指の手洗い（消毒）、うがい等を厳守し、三密を避ける等を欠かさず実行し、「うつさない」「うつらない」をしっかりと守ることが大切と考えます。

最後に8月には、珠洲市の会場で元気なスカウト達を心待ちに致しております。では珠洲で!!

ボーイスカウト石川県連盟 理事長 野田 政弘

## 「ボーイスカウトとあそぼう！ ワクワク自然体験あそび」の開催



11月3日(水・祝)に金沢市大桑ぐるぐる広場において、昨年に引き続き「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」を開催しました。

昨年は文部科学省の委託事業として県内8会場での開催でしたが、今年は県連盟の独自事業として1か所となったことから、午前と午後の2部制で近隣小学校に周知チラシを一人ひとりに配布し参加者を募りました。

参加申し込みは盛況で、当日は、午前と午後をあわせて、一般の子どもが116人、会場近隣の団から参加してもらったホストとしての金沢第2団及び金沢第11団のビーバースカウト、カブスカウトが45人、保護者を合わせて256人となり、これにスタッフをあわせると300人を超える開催となりました。



当日は、午前の部は晴天に恵まれましたが、午後の部の受付時には激しい通り雨が来襲し、残念ながらキャンセルとなった子どももいて残念でしたが、参加者一同で雨宿りをしながら雲



の切れ目を待ちましたが、1時間後には、ようやく雲が切れ、晴れ間が覗き出しました。

会場内では、計測、移動キムスやフィールドビンゴ、自然物工作などのスカウトプログラムのコーナーが設置され、参加者はホストとなつたビーバースカウト、カブスカウトとともにグループごとにコーナーを回り、あちこちで歓声をあげながら、広場の中でしたが身近な自然環境での体験活動を楽しみました。



なかでも、自然物工作のコーナーは、コルクのコースターにどんぐりや松ぼっくり、その他小枝などの自然物などによる、素敵なおもちゃを作りコーナーなので、広場にたまたま来ていた子どもも飛び入りで参加し、それぞれ創意工夫を凝らしながらの製作する大人気コーナーとなりました。





この取り組みは、新型コロナウイルス感染症による子どもたちの不安感を解消するとともに元気を取り戻し、健やかな成長に寄与することや、身近な自然とのふれあいを取り戻すきっかけとなることを願い、また、ボーイスカウトの普及啓発、PRも兼ねて実施したものです。



広場という身近なちょっとした自然環境でしたが、外遊びを通じて、たくさんの子ども達がボーイスカウトの楽しさを体験し、子ども達からは「楽しかった～」との声が多く聞こえ、保護者の方からも「ボーイスカウトっていいですね」との声もあり大成功の取り組みになりました。

来年以降も各地で開催できればと考えておりますが、いずれにしても一人でも多くの子どもたちがスカウト活動の仲間として参加することを願っています。



## ビーバー・カブの集い



11月14日（日）、金沢市キゴ山において、「ビーバー・カブの集い」が天候にも恵まれ、大勢のビーバー・カブスカウトの仲間が集い、盛大に展開されました。当日は「ビーバー・カブのアースレンジャー」をテーマに8個のポイントを巡るラリーで一日楽しく交流を深めました。



## ボーイ隊班長訓練

10月16日（土）から17日（日）まで2日間の日程で金沢市甥杉少年の森キャンプ場において、「班長が教えるスカウトスキル」をテーマに班長訓練が開催されました。参加者は、4ヶ団より9名のスカウトが参加しました。



## ベンチャーアフターフォーラム

7月18日（日）、野々市市中央公民館カミーノに於いて、ベンチャースカウト12名が参加して開催されました。

全国スカウトフォーラムの報告、パネルディスカッションでローバースカウトの体験談、ディスカッションでは『ベンチャーウィーク～持続可能な地域社会の為に〇〇をします～』と発表を行い、最後に次回の県連盟フォーラムに向けた目標を確認し、閉会しました。



## 石川ローバース設立

11月13日（土）、金沢市教育プラザ富樫に於いて、発隊式及び設立総会が行われました。石川ローバースには、県内6ヶ団から15名の参加が寄せられましたが、当日は5ヶ団8名のローバーススカウトが出席し、理事長より隊旗の樹立、その後、設立総会で憲章、運営委員の選出が行われた後、クラフトで交流を深めました。

運営委員長には、野々市第1団垣内阜良君、副委員長に川北第1団本野夏希さん、金沢第2団奈倉千晴さんが選出されました。

## スカウトフォーラム

12月11日（土）、12日（日）にわたり、白山青年の家に於いて、県内6ヶ団からベンチャースカウト14名が参加して、『私たちにできる社会貢献とは』をテーマに開催されました。

基調講演では、高村事務局長による環境に配慮した食物の循環についてお話をいただき、国連が推奨する「継続可能な開発目標」の一つで

ある「つくる責任」「つかう責任」即ち、食物の廃棄を削減したり、貴重な天然資源を大切に使ったりなど、モノの生産と消費に関する、また綴り可能なモノの消費と生産パターンの構築について学びました。

## 第8回石川キャンポリー概略

### （1）テーマ

「100+f～自分のfを探せ～」  
日本連盟統一のテーマです。

### （2）開催期日

令和4年8月4日（木）～8月9日（火）

### （3）場 所

珠洲市蛸島町「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」

### （4）参加者数

スカウト、指導者 約280名  
本部スタッフ56名、奉仕隊 24名  
ビーバー・カブ・指導者 300名  
計 660名

### （5）参加形態

原隊参加（BS・VS、指導者含む20名以上32名まで）を基本とし、基本人数に満たない場合は、近隣との隊で混成隊を編成します。（混成隊も基本はスカウト、指導者含み20名以上32名までとします）

### （6）参加費

ボーイスカウト隊・指導者・本部スタッフ・奉仕隊はいずれも30,000円  
ビーバー・カブ隊・指導者 6,000円

### （7）燃料は薪を使用します。

（8）ビーバー・カブディは8月6日（土）、7日（日）の1泊2日、宿泊先は珠洲市内の公民館を予定しています。

（9）ローバースカウトは原則、本部奉仕、また県連盟ベンチャー隊を軸に奉仕隊を編成します。

